

第14回 酪農諮問委員会 実施概要

1. 開催日時：2017年4月27日（木）14：00～17：30
2. 開 場：雪印メグミルク(株)本社会議室
3. 出席者

諮問委員：小泉 恒男（元標茶町農業協同組合 組合長）
黒沢 寛寿（元全国酪農青年女性会議 委員長）
松尾 要治（元全国農業協同組合連合会酪農部長）
鈴木 宣弘（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）
小林 信一（日本大学生物資源科学部教授）

当 社：西尾社長、難波副社長、石田副社長、小板橋常務、池浦常務
（事務局 酪農総合研究所）

4. 開催内容

今年度の諮問テーマは【酪農乳業の競争力強化に向けた改革への課題と対応】とし、今回は「農業競争力強化プログラム」について、ご意見を伺いました。

生乳生産は一旦回復したものの悪天候や乳牛頭数の減少で減産に転じており、畜産クラスター事業などの既存関連対策の拡充や新規事業「酪農経営体生産性向上緊急対策」の実施による生産回復が期待されます。農業改革においては「農林水産業・地域の活力創造プラン」が改訂され、「農業競争力強化プログラム」が示されました。また、TPP 協定は米国の交渉離脱で発効の見通しが立たない状況ですが、日米 FTA への転換の懸念が浮上し、EU との EPA の大枠合意への交渉など予断を許さない情勢となっております。

これらの情勢を踏まえ、生産現場の現状と基盤強化への取組や「農業競争力強化プログラム」に関わる議論の動向について、各委員からそれぞれのご見識に基づく率直なご意見をいただき、乳業の対応についてもご助言をいただきました。

以 上



今回のテーマに対する課題認識を述べる西尾社長



新商品の濃厚ミルク仕立てをご試飲いただきました